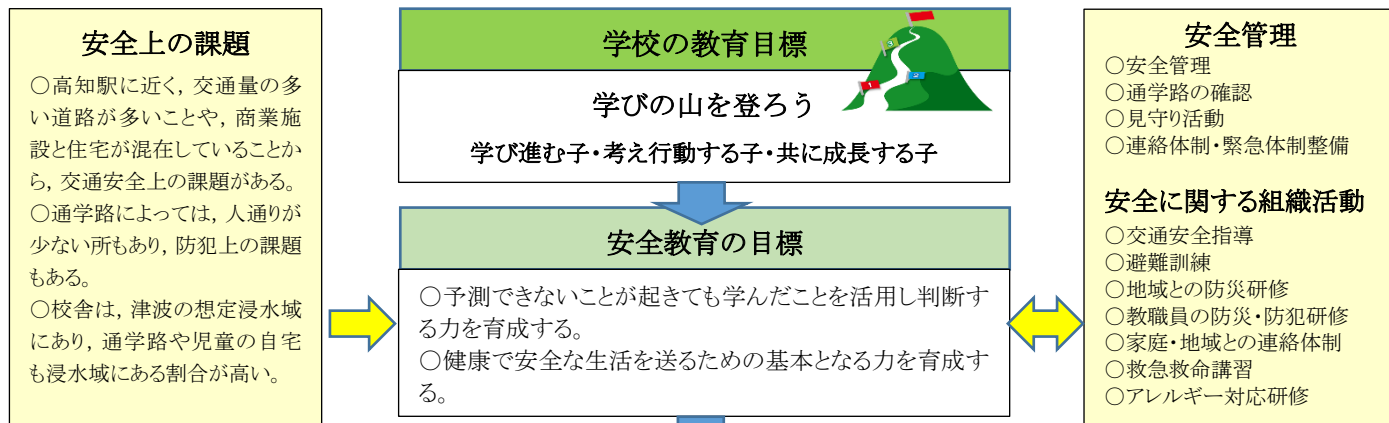




高知市立江陽小学校 安全教育全体計画



学年ブロック別重点目標		
低学年	中学年	高学年
<p>【生活安全】 ○廊下や階段を安全に歩いたり、遊具を正しく使ったりすることができる。</p> <p>○登下校の際には、一人ではなく、できるだけ複数で行動することが望ましいことを理解している。</p>	<p>【生活安全】 ○廊下や階段を安全に歩いたり、道具を使う時には、周囲の安全に気を配ったりすることができる。</p> <p>○登下校時に見守ってくれる地域の人を知る。</p>	<p>【生活安全】 ○様々な状況下における校内での過ごし方を認知し、ルールを守ることができる。</p> <p>○登下校は、自ら周囲の状況を確認しながら歩くことができる。</p>
<p>【交通安全】 ○道を渡る時の「とまる・みる・たしかめる」の確認行動を身に付けている。</p>	<p>【交通安全】 ○様々な危険の原因や事故の防止について理解し、危険に気付くとともに安全な行動ができる。</p>	<p>【交通安全】 ○様々な場面で発生する危険を予測し、進んで安全な行動ができる。</p> <p>○自分自身の安全だけでなく、家族など、身近な人々の安全にも気配りができる。</p>
<p>【災害安全】 ○物が「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所へ移動し、頭を守ることを理解して行動しようとしている。</p> <p>○どこにいても自分で判断して避難することができるよう、校区の津波避難ビルなどを知っている。</p>	<p>【災害安全】 ○指示を待つことなく自分の判断で行動しようとしている。</p> <p>○地震発生時に、強い揺れ、長く揺れたらすぐに避難しようとしている。</p> <p>○災害時には、家族や友達、周囲の人々と協力して危険を回避できる。</p>	<p>【災害安全】 ○指示を待つことなく自分の判断で行動することができる。</p> <p>○地震発生時に、強い揺れ、長く揺れた時は津波が来ると想定し、自ら判断して最も近い高台へ避難することができる。</p> <p>○災害時には家族や友達、周囲の人々の安全にも配慮し、他の人の役に立つ行動ができる。</p>

関連する主な領域およびその指導内容			
	低学年	中学年	高学年
教科	○生活科 (1)学校生活に関わる活動 (2)家庭生活に関わる活動 (3)地域に関わる活動 (4)公共物や公共施設を利用する活動	○社会科4年(3)自然災害から人々を守る活動・「安全なくらしを守る」 ○社会科4年(4)県内の伝統文化、先人の働き・「地域の発展に尽くした人々」	○社会科 5年(5)我が国の国土の自然環境と国民生活・「災害から人々を守る」 ○体育科 G 保健(2)けがの防止・事故やけがの防止
特別の教科 道徳	A 主として自分自身に関すること〔節度、節制〕(3) D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕(17)	A 主として自分自身に関すること〔節度、節制〕(3) D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕(18)	A 主として自分自身に関すること〔節度・節制〕(3) D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕(19)
総合的な 学習の時間		・「江陽大好き・地域自慢」(3年) ・「人間大好き！体験しよう・考えよう」(3年) ・「自分の命を自分で守る」(4年) ・「地域の防災」(4年)	・「地域と共に生きる」(5年) ・「地域へ発信～命を守るために～」(5年) ・「町の未来を考えよう」(6年) ・「残そう！私たちの足跡」(6年)
特別活動	学級活動	○学級活動②ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 「学校の約束を考えよう」「雨の日の過ごし方」「学校の行き帰り」	○学級活動②ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 「大切な体」「みんなの命を大切にしよう」「休みの日の暮らし方を考えよう」
	学校行事	○地震津波避難訓練(授業中、休み時間、掃除中、時間と場所を変えて) ○交通安全教室	○火災避難訓練 ○心肺蘇生法講習会(AEDを含む)

安全教育の成果を測る指標
○「どこにいても地震からの身の守り方を知っている」と回答する児童が 90% (安全意識アンケートの結果)
○「避難訓練の約束を守って行動できた」と回答する児童が 95% (毎回の避難訓練実施後の振り返りの結果)
○「見守りに携わっている地域の方や保護者に進んで挨拶し日頃から関わりをもっている」と回答する児童が 90% (安全意識アンケートの結果)
○自転車に乗るときには交通ルールを守っている児童が 100% (安全意識アンケートの結果)